

# 幼稚園の魅力①

幼稚園には、ワクワク、ドキドキいろいろな体験がいっぱい。  
施設、設備、園庭など、充実した環境のもとで、保育者（遊びと学びのプロフェッショナル）の援助により、豊かな心とからだを育みます。



## 葛飾区の幼稚園ってどんなところ？

幼児期にふさわしい施設、設備、園庭を備え、より良い環境の中で自発的な活動(遊び)や体験を通して豊かな感性や、心と丈夫な身体を育みます。

私立幼稚園の歴史は長く、それぞれが建学の精神に基づく、特色ある保育、地域に根ざした保育を実践しています。地域の信頼を得て、多くの卒園生が活躍しています。

## 保育園とどうちがうの？

幼稚園は3～5歳児の子どもたちが集団生活をする幼児教育(学び)の場です。

幼稚園は子どもたちが通う最初の学校施設となります。

幼稚園と保育園を比べてみましょう。

	幼稚園	保育園
施設形態	学校教育施設(文部科学省所管)	児童福祉施設(厚生労働省所管)
根拠となる法律	学校教育法	児童福祉法
対象年齢	満3歳～5歳児	0～5歳児
入園条件	特になし。 自由に選べます。	共働き世帯、親族の介護などの事情で家庭での保育が困難であること。区市町村の利用調整により入園が決定。
開園時間	約4時間+預かり保育(P.14参照)	8時間又は11時間+延長保育

※認定こども園は幼稚園と保育園の両方の機能を持っています。

## ワクワク、どきどき、いろいろな体験がいっぱい!!

先生(保育者)と子どもたち、ご家庭、地域とのつながりを大切にしています。子どもたちの友だちづくり、仲間づくりを援助し、集団生活の楽しさやルールを身につけていきます。

みんなであそぼ!! 幼稚園に遊びにきてくださいね!!

- 環境…………… P.6、7
- 食育…………… P.10、11
- 子育て支援… P.12、13
- 預かり保育… P.14、15

# 幼稚園の魅力②

## 幼稚園期の教育で大切なのは…

### よい環境のもとでの遊びです（遊びは学び）

**幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うことです。**

- \*自ら環境に関わる幼児の主体性が大切です。
- \*保育者の魅力的でより良い環境づくりが大切です。
- \*豊かな経験活動(体験)となるよう保育者の援助・支援が必要です。

**幼児教育の特徴は、遊びを通しての指導を中心として行うことです。**

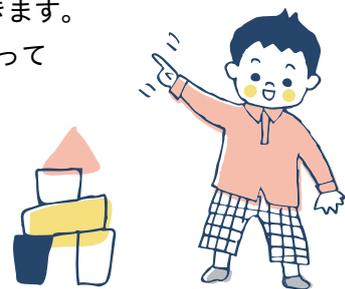
遊びや生活を通した子どもの主体的な活動を重視しています。  
「学ばせる」のではなく、遊びを通して様々な体験をして「自ら学んでいく」ものです。

## 幼児の育ちに重要な非認知能力ってどんな力？

非認知能力は認知能力(学力)の基礎となる心の土台となる力です。  
幼児期に身につけておくことで将来の幸せや経済的な安定につながると言われています。  
近年の幼児教育研究で世界的に注目を集めている幼児期の育ちに重要な能力です。

- ・目標に向かってがんばる力 失敗してもくじけずに粘り強くがんばる
- ・人とうまく関わる力
- ・感情をコントロールする力 我慢しなければいけない時に我慢する

これらのような非認知能力が、子ども主体の遊びの中で育っていきます。  
\*文部科学省が示す幼稚園教育要領にも幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿に記されています。



## 人生に必要な知恵は

### すべて幼稚園の砂場で学んだ

人間、どう生きるか、どのようにふるまい、  
どんな気持ちで日々を送ればいいのか、  
本当に知っていなくてはならないことを、  
わたしは全部残らず幼稚園で教わった。  
人生の知恵は大学院という山のとっぺんにあるのではなく、  
日曜学校の砂場に埋まっていたのである。  
わたしはそこで何を学んだろうか。  
何でもみんなで分け合うこと。  
ずるをしないこと。人をぶたないこと。  
使ったものはかならずもとのところに戻すこと。  
ちらかしたら自分で後片付けをすること。  
人のものに手を出さないこと。  
誰かを傷つけたら、ごめんなさい、と言うこと。  
食事の前には手を洗うこと。  
トイレに行ったらちゃんと水を流すこと。  
焼きたてのクッキーと冷たいミルクは体にいい。  
釣り合いの取れた生活をする…毎日、少し勉強し、少し考え、  
少し絵を描き、歌い、踊り、遊び、そして少し働くこと。  
毎日かならず昼寝をすること。  
おもてに出るときは車に気をつけ、手をつないで、はなればなれにならないようにすること。  
不思議だな、と思う気持ちを大切にすること。



(ロバート・フルガム(米国・哲学者))

幼児期に重要なことは、“やりたい”と思える遊びに夢中になり、試行錯誤すること。  
そうやって、生み出した自発的な遊びを通して、協調性ややる気、忍耐力などの能力を身につけて、それらが将来、勉強や仕事などに対する意欲を高めることに繋がるのです。子どもに十分な遊びの時間や環境を整えてあげることが大事なことです。

# 環境

幼稚園は環境を通して幼児教育を行う場所です。  
各幼稚園には様々な環境への工夫があります。



## 幼稚園の園庭は遊びの宝庫！

園庭は公園とは異なり、不審者対策や事故防止といった安全に配慮された環境です。また幼児に合わせた遊具や砂場などが設置されています。いつでも園児たちが遊ぶことができる場が用意されていることで、多様な経験が保障されます。おもいっきり身体を動かすことで運動能力が発達し、じっくりと遊びこむことで集中力などが育まれます。また園庭にあるものを自由に組み合わせて遊ぶことで発想力が培われます。少し難しいことにも先生が関わることで安全に挑戦することができることも魅力の一つです。

## 幼稚園は自然がいっぱい

幼稚園の園内は多くの自然で溢れています。四季折々の自然に日常的に触れることで感性が磨かれます。自然と触れ合うことは新たな発見に溢れており、「何故だろう？」と不思議に思うことから科学的な思考が芽生えます。自然と関わることは身体的な育ちだけでなく、知的な育ちにも大きく関わっています。

また園内や遠隔地に、田畑を有している園もあります。栽培や収穫、調理を通じて食育にも力を入れています。また田畑を利用して泥遊びをしたり、田畑で採れたものを利用して作品を作ることもあります。

## 室内の遊びも充実

園舎内の保育室は、子ども達が集中して先生のお話を聞いたり、活動に参加できるように工夫されています。じっくりと座って制作活動をしたり絵本を読んだりします。

また保育室以外にも遊戯室(ホール)があります。室内ならではの遊びが充実するように配慮されており、雨の日でも十分に身体を動かす遊びを楽しむことができます。他にもたくさんの絵本を備えた図書室や図書コーナー、ランチルームなど各園独自のお部屋もあります。

## 様々な遊びに関われる環境が盛りだくさん

子ども達がより多くの遊びに関われるように、遊びのコーナーの環境を用意することもあります。得意なことを伸ばすと共に、少し苦手なことにも挑戦するきっかけになります。また年齢の違う子ども達が一緒に遊ぶことで、年上の子どもにも憧れをもったり、年下の子どもにも優しくする気持ちが育つといったことが期待されます。



# 幼稚園選び

まず大切なことは、近隣の幼稚園や気になっている園などに足を運び、見学し自分の目で見て話を聞くことです。そして感じたことや些細なことについても質問することが必要です。教育の目的は同じでも、それを達成するための考え方や保育方法は様々です。子ども自身も、園や先生の雰囲気を感じる必要がありますが、最後は子どもに合った場を家族で話し合い親が選びましょう。

step

1

電話などで問い合わせ、  
園見学やプレ保育に！

この幼稚園ガイドや各園ホームページにより“園見学日”や“説明会”、また“未就園児教室”などの日程を確認し参加してみることから始めます。



step

2

“選ぶために”話を聞き、  
相談してみる！

預かり保育や休園日、保護者の参加など各園さまざまですから、ご家庭の事情に合わせた園選びとなるよう家庭の事情を話し相談してみることも大切です。

step

3

10月15日以降

入園願書をもらいましょう！

何園か見学し終えた後、10月15日より各園にて“願書配布”が始まり、10月末日まで希望者に配布することが定められています。（\*東京都のすべての私立幼稚園でこの期日が決められています。）

step

4

11月1日以降

いよいよ入園願書の提出です！

願書に記入し入園料、申し込み料等（各園により違いあり）を準備し、11月1日の願書受付時に提出します。（\*東京都のすべての私立幼稚園でこの期日が決められています。）

step

5

入園までの準備のために

願書提出後は各園さまざまですが、入園式までの間に園に遊びに行く機会などがあり、入園に向けた準備のための説明会などが行われます。

## 注意事項

- 東京都の私立幼稚園では、11月1日より前に願書を受け取ることや金銭の授受などの入園を確約する行為は禁止されています。
- 10月15日と11月1日が祝祭日、休日に当たる場合は、幼稚園によって開園している日に繰り下げて願書の配布や受付をすることもあります。



## 入園準備についてのQ&A

### 見学に行くならいつ頃がいいの？

入園、進級間もない4月、5月は、まだ子どもたちが落ち着かなく、また幼稚園の先生たちにとっては何よりも在園児が大切です。

子どもたちの普段の様子や雰囲気を見ていただくためにも、見学は6月頃から夏休み前、2学期が始まって子どもたちが園生活のペースを取り戻した頃がよいでしょう。

先生たちもゆっくり相談や質問に答えてくれるはずです。園によっては運動会などの行事に参加させてくれるところもありますから、問い合わせてみましょう。

### 幼稚園の説明会ってどんなことをするの？

幼稚園によって随時行っていたり、日時を設定していたりと、やり方も内容もさまざまです。

説明会では、その園の教育方針や年間に行っている行事について、また施設や費用などを教えてくれる場合が多いようです。

園によって内容は様々ですので、気になる点は説明してもらいましょう。

### 未就園児教室に入っていないと入園できませんか？

葛飾区の私立幼稚園では、さまざまな形態で子育て支援事業を実施しています。未就園児教室もその一つですが、未入会のお子様でも入園できますのでご安心ください。

また、子どもが未就園児教室に参加している保護者に対しての拘束的募集行為(未就園児教室に参加しているから必ず入園しなければならない、あるいは入会金が入園費用の一部となる)は、募集業務活動においては固く禁止されています。

### 入園が決まった後、4月までに準備しておくことは？

特に小さな子どもたちは、保護者の気持ちの動きを敏感に感じます。保護者自身が入園式までの期間をゆったりとお子さんとお過ごし、あせることなく準備していくことが大切です。

そのためには、不安なことがあれば迷わず園に相談したり、園に開放日があれば子どもと一緒に足を運んでみることもよいでしょう。また、家庭では子どもの時間にじっくりと関われるような余裕のある生活を心がけましょう。

# 食育



## たくさん遊んでたくさんたべよう！

幼稚園では、給食を提供している園もあれば、お弁当という園もあります。

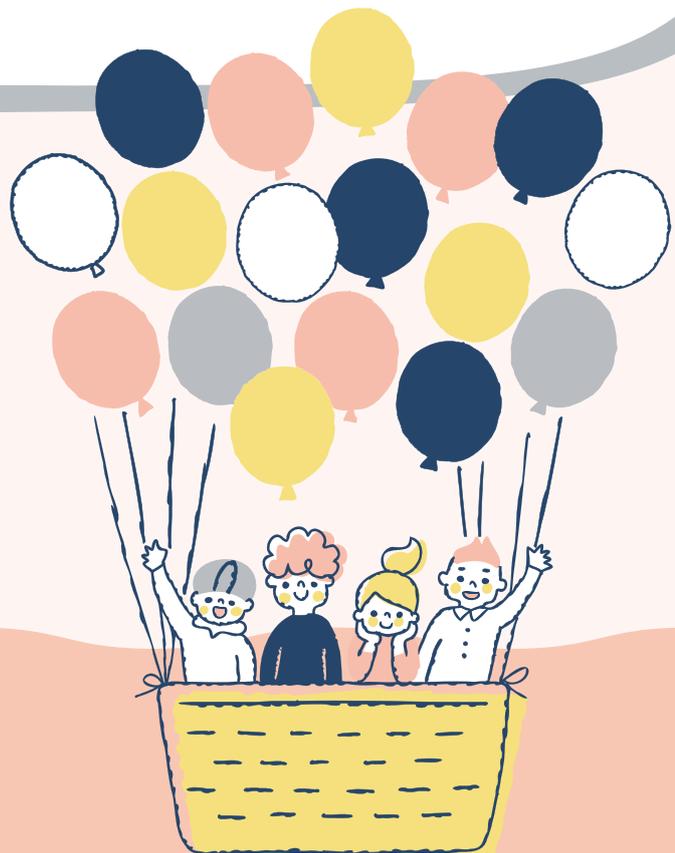
給食は、みんなで同じものを食べるという園ならではの経験になります。栄養士が栄養のバランスや幼児に必要な食事を考慮した献立ですので、子ども達の心身の成長を促すことに繋がります。家庭ではあまり馴染みのない食べ物や苦手な食べ物も、友達や先生が食べているから食べてみよう、食べてみたらおいしかった、ということもありますね。

手作りのお弁当も大切です。ご家庭の方が作ってくれる手作りのお弁当から、子ども達は保護者の愛情を感じます。保護者もお弁当を作る際には、色々な思いを込めて作ることで、親子の気持ちの交流にもなるでしょう。「明日のお弁当に〇〇入れてね」といった親子のやり取りは、お弁当ならではの魅力ですね。また、お弁当は、子どもが完食しているか、残飯はどの程度かなど、保護者自身がしっかり把握できるので、子どもの食べ物の好みや毎日の健康状態を知ることに繋がります。

食物アレルギーがある場合、基本的にお弁当の場合は心配ないかと思いますが、給食の場合は、給食責任者・担任・保護者などで面談の上、アレルギー児対応の献立表を作成するなど、個別対応をとっている園もあります。詳しくは各園にお問い合わせください。

その他、箸の持ち方、食べているときに歩き回ったりしない、食事の前にトイレを済ませるといったマナーも年齢に応じて育てていきます。

P.40に給食・弁当実施一覧表を掲載しています。



# 子育て支援

幼稚園という場所で、ほとんどの子ども達が「初めて」の集団生活を始めることでしょう。ぜひ幼稚園という環境を知っていただき、その雰囲気親子で慣れ親しんでおくことも大切であると思います。各園では、子どもが同年代の子ども達と遊んだり触れ合える場だけでなく、親が子育ての仲間と出会う場、子育ての喜びや悩みを分かち合うことができる場として配慮し「子育て支援の場」を工夫して提供しています。親子で参加しながら、それぞれの園の大切にしていることを感じ取っていただけると大変うれしく思います。是非ご利用ください。



## 幼稚園によろこそ！！

親子で幼稚園に来て頂き、一緒に遊んだり、活動に参加してみるとこの時期の子ども達の特性や、これから育つ子どもの成長の見通しが理解できます。(親子ひろば・子育てひろばなど)



## 一緒に考えていきましょう。

保育者は、子どもの心や身体の発達を見極め、その子どもに即した援助をしていく保育のプロです。

一緒に子どものことを語りながら、一緒に子育てを考えていくという信頼のパートナーになりたいと思っています。(子育て相談など)



## 幼稚園生活でこんなに成長しましたね。

幼稚園という場で、親として出会った人たちとの絆を結んでほしいと思います。

共に喜びや悩みを分かち合い、時間と経験を共有し積み重ねていくことは、子ども自身の安心感を育むだけでなく、親同士や保育者たちと子ども達の成長を共に語れる感動の機会となることでしょう。



P.42に、子育て支援の一覧表を掲載しています。詳しくは各園のホームページでご確認ください。

# 預かり保育

## 幼稚園の預かり保育とは・・・

幼稚園によって多少差異はありますが、地域の実態や仕事をはじめ、さまざまな事情(新2号など保育が必要な子だけでなく、兄弟の学校の保護者会参加のため、親のリフレッシュのため等様々な理由)がある保護者の要請により、教育課程に係る教育時間(平日9～14時頃)の終了後や早朝・夕方以降、又は夏休みや冬休みなどの長期休み期間にも希望者を対象に子どもを預かる保育のことを意味します。

## 働くパパママにも便利な制度

多くの幼稚園の教育時間は、9～14時頃までとなっているため、パートや時短勤務などで働く保護者は、通常の教育時間では幼稚園のお迎えに間に合わない場合があります。

そのような時に利用されるのが幼稚園の「預かり保育」で、保育園の「延長保育」と考え方やサービス内容は同じです。

預かり保育は女性の就労率の増加や就労形態の多様化に応えるための制度ともいえます。

区内全ての私立幼稚園が預かり保育を実施していますが、預かる時間・期間・内容・金額にはそれぞれ違いがあります。(P.41の一覧表や各園のホームページでご確認ください。)

預かり保育を検討する時には、幼稚園選びの時から、ポイントを押さえておくとも良いでしょう。



## 預かり保育の内容も充実！

利用人数が通常の教育時間より少なくなるため、基本的に異年齢、他クラスの子どもの混合クラスで、普段関わりが少ない友だちや学年・クラスを超えた交友関係も広がりやすくなります。

預かり保育の内容は、各園によって違いがあります。幼稚園によっては、預かり保育の時間を活用して、園舎で英語やピアノ、体操などの習い事を開講している所やおやつを食べたり、アットホームな雰囲気ですごす所もあります。

預かり保育は、普段通っている幼稚園で行われるので、子どもにとってはいつもと同じ環境で保育を受けられ、負担に感じる事が少なく、安心して過ごすことができます。

保護者にとっても、慣れた環境に子どもを預けるため、安心感があるようです。

## 定期長時間預かり保育について

■定期長時間預かり保育とは、在園している満3歳以上の保育相当の児童に対し、定期的に長時間の預かりを行う事業です。

1日9時間以上(教育時間を含む)、週5日かつ年間200日以上の開所をしている幼稚園(認定こども園)で実施しています。

■保護者の方が、就労・妊娠・出産・障害・求職中等であり、1日9時間以上(教育時間を含む)の利用が見込まれ、原則として週2日以上(預かり保育の利用が見込まれる方)になります。

申し込みをされる方は、各証明書の提出が必要になります。

例) ・就労 → 雇用契約書

・妊娠・出産 → 保育が困難なことが分かる証明書等

・求職 → ハローワークの証明書

■定期長時間預かり保育をご希望の方は、園指定の定期利用保育申請書(各園によって書式は異なります)を提出していただきます。

■定期長時間預かり保育(年間200日以上、9時間の開所)の月額料金は、園によって異なるため、各園にお問い合わせください。

